

出願・判定

- ◎本校の一般型選抜は学校出願とし、Ⅰ.体育学科のみ、Ⅱ.体育学科・普通科両方、Ⅲ.普通科のみを選択して出願する。（Ⅱを選んだ場合、体育学科から先に判定する）
- ◎一般型選抜（学力検査）は全員が受検し、希望者は学校独自型選抜（「体育学科 中学校長推薦」または「普通科 自己推薦AまたはB」のいずれか）を併願することができる。

学校独自型選抜
「独自型」

体育学科 90%
中学校長推薦

普通科 10%
自己推薦A

普通科 25%
自己推薦B

併願可

併願可

併願可

体育学科 10%

普通科 65%

＜学校出願＞

- Ⅰ 体育学科のみ
Ⅱ 体育学科・普通科 両方（体育学科から先に判定）
Ⅲ 普通科のみ

※学校独自型選抜から判定を行い、その不合格者と一般型選抜のみの志願者について、一般型選抜の判定を行う。

日程

1日目 学力検査（志願者全員）

2日目 学校独自型検査（「独自型」・「一般型」併願者 および「一般型」のみで、体育学科を志願する者）

2日目 日程	＜体育学科＞	＜普通科＞	
		自己推薦A	自己推薦B
AM	実技 （「独自型」と「一般型」併願者）	×	プレゼン
PM	実技 （「一般型」のみの志願者）	実技	×

※体育学科 実技（「一般型」のみの志願者）と 普通科 自己推薦A 実技 は合同で行う。

草津東高等学校 入試概要



＜体育学科＞求める生徒像

- (1)自らの行動に責任を持ちながら、自身の競技力の向上を目指し、挑戦を続ける生徒
- (2)将来、社会のスポーツ振興に貢献できる指導者等の道を目指し、意欲的に学習や部活動に取り組む生徒
- (3)広い視野を持ち、仲間と切磋琢磨しながら行動し、集団として高め合うことのできる生徒

＜普通科＞求める生徒像

- (1)部活動や体験的活動に主体的に取り組む意志を持ち、充実した環境のもとで、それらを実践しながら、自らの夢にチャレンジしようとする生徒
- (2)自らの行動に対する責任と、社会に貢献したいという意欲を持ち、それらを具現化できる生徒
- (3)広い視野を持ち、仲間と切磋琢磨しながら、集団として高め合うことのできる生徒

体育学科

＜中学校長推薦＞ 90%

推薦要件

規範意識を持って、学校生活に意欲的に取り組み、本校の体育部活動に所属し3年間継続して競技に取り組む強い意志があり、次の(a)(b)両方の要件を満たし、かつ(c)～(f)のいずれかの要件に該当する者

必須	(a) 体育について幅広く学ぶ意欲があり、本校体育学科への志望の意志が強く、目的意識を持ち、その達成に向けて主体的に努力することを期待できる者
	(b) 陸上競技・バスケットボール・サッカー・剣道・水泳・アーチェリー・基礎能力テスト のいずれかを、実技検査として選択できる者

+

いずれかに該当	(c) 全国規模の大会または、近畿中学校体育大会に出場した者
	(d) 県大会で個人または団体ベスト8以上に入賞した者
	(e) 県選抜選手、県代表選手、日本代表選手として活動した経験のある者
	(f) 上記の競技成績と同等の優れた運動能力があると認められる者

選抜資料・配点

(1)学力検査	5教科の学力検査の得点	200点
(2)個人調査報告書	中学校長から送付された個人調査報告書	200点
(3)実技検査	[陸上競技・バスケットボール・サッカー・剣道・水泳・アーチェリー・基礎能力]から1競技を選択し、さらに[複合的運動]を受検	600点

※取得した資格や部活動等の実績を、個人調査報告書の配点に含めて評価する。なお、それらの実績等を証明する書類を出願時に別途提出すること。



併願可

普通科

＜自己推薦A＞ 10%

出願要件

本校入学後、部活動と学習に意欲的に取り組む意志があり、次の(a)(b)両方の要件を満たし、かつ(c)～(f)のいずれかの要件に該当する者

必須	(a) 中学校の部活動や外部のクラブチームに所属し、入学後も本校の体育部活動にて3年間継続して活動に取り組む意志のある者
	(b) 個人調査報告書における3年生の9教科の評定の合計が32以上の者

+

いずれかに該当	(c) 体育的活動にて、近畿中学校体育大会または全国規模の大会に出場した者
	(d) 体育的活動にて、県大会で個人または団体ベスト8以上に入賞した者
	(e) 県選抜選手、県代表選手、日本代表選手として活動した経験のある者
	(f) 上記の競技成績と同等の優れた運動能力を有する者

選抜資料・配点

(1)学力検査	5教科の学力検査の得点	500点
(2)個人調査報告書	中学校長から送付された個人調査報告書	200点
(3)活動実績報告書	志願者が作成した活動実績報告書	
(4)実技検査	[複合的運動]を受検	300点

※取得した資格や部活動等の実績を、個人調査報告書、活動実績報告書の配点に含めて評価する。なお、それらの実績等を証明する書類を出願時に別途提出すること。



併願可

＜自己推薦B＞ 25%

出願要件

本校に対する明確な志望動機があり、次の(a)の要件を満たし、かつ(b)～(e)のいずれかの要件に該当する者

必須	(a) 個人調査報告書における3年生の9教科の評定の合計が36以上の者
----	-------------------------------------

+

いずれかに該当	(b) 中学校の部活動や外部の団体に所属し、体育的または文化的活動に優れた実績や能力を有し、入学後も本校の部活動にて継続して活動に取り組む意志のある者
	(c) 中学校生活を高い学習意欲と規範意識を持って過ごした者で、入学後も目的意識を持って生活し、その達成のために主体的に行動する意志のある者
	(d) 社会に対する課題意識や、自身の夢を持ち、課題解決や夢の実現に向けた実践をした経験のある者で、入学後も継続して行動する意志のある者
	(e) 学校のリーダーとして活躍した経験のある者で、入学後も他の生徒を牽引して学校の活性化に努める意志のある者

選抜資料・配点

(1)学力検査	5教科の学力検査の得点	500点
(2)個人調査報告書	中学校長から送付された個人調査報告書	200点
(3)活動実績報告書	志願者が作成した活動実績報告書	
(4)プレゼンテーション	一人2分間で、自己のこれまでの経験と今後取り組みたいことについて、発表を行う。資料等を準備しても良い。	300点

※取得した資格や部活動等の実績を、個人調査報告書、活動実績報告書の配点に含めて評価する。なお、それらの実績等を証明する書類を出願時に別途提出すること。



併願可

選抜資料・配点

(1)学力検査	5教科の学力検査の得点	500点
(2)個人調査報告書	中学校長から送付された個人調査報告書	300点
(3)実技検査	[複合的運動]を受検	200点

＜学校出願＞

- I. 体育学科のみ
- II. 体育学科・普通科 両方
- III. 普通科のみ

選抜資料・配点

(1)学力検査	5教科の学力検査の得点	700点
(2)個人調査報告書	中学校長から送付された個人調査報告書	300点

※[複合的運動]では、走る、ミニハードルを跳ぶ、ボールを投げる、バランスを取る等の運動能力を総合的に評価する。

プレゼンテーション Q&A

Q1. 草津東高校が実施するプレゼンテーションとはどのようなものですか？

- A. 一人 2 分間で、あなた自身のこれまでの経験(学校の内外問わず)と今後取り組みたいことについて、口頭で発表をするものです。補助的に「資料等」を用いても構いません。

Q2. 「資料等」とはどのようなものですか？

- A. 「資料等」とは、口頭での発表する際に、補助的に提示する「もの」や、表現するための「動作」を指します。用いる際には、事前に申請が必要な場合があります。事前に申請していない「資料等」は用いることができません。申請方法については、後日お知らせします。ただし、「資料等」は評価しません。(プレゼンテーションの得点には含めません。)

○検査場に備えてあるものは自由に使用して構いません。ただし、パソコン・タブレット等の通信機器、アンプ・スピーカー等の電子機器、危険なもの、施設を汚損するおそれのあるもの、生き物、周囲の人の迷惑になるもの等は、持ち込むことはできません。

(検査場に備えてあるもの … 黒板、マグネット、白・赤・黄色・橙色のチョーク)

○「資料等」として用いて良いもの(②③④については、事前に申請が必要)

①紙媒体	サイズ、枚数は自由。 絵を描いたり、写真を貼ったり、自由にデザインして良い。
②楽器・歌・ダンス等の実演	口頭で発表する中で、必要に応じて実演しても良い。 楽器等の実演に必要なものは、自分で持ち込みができるもののみ、事前に申請をし、持ち込んで良い。ただし、更衣等はできない。 その他、実演のために持ち込むものは、事前に申請し、許可を得る。
③英語でのスピーチ	日本語による発表の中に、必要に応じて使用しても良い。 いずれの「資料等」も、「これまでの経験」と「今後取り組みたいこと」について日本語で話をした上で、用いるようにしてください。 「英語」以外の外国語は使用してはいけません。
④制作物(作品等)	口頭で発表する中で、必要に応じて使用しても良い。 ただし、持ち込むものは事前に申請し、許可を得る。

Q3. 「資料等」は、発表後、提出する必要がありますか？

- A. いいえ。「資料等」は、発表を終えたら持ち帰っていただきます。

Q4. プレゼンテーションは、面接とどう違うのですか？

- A. 面接は、質問に対してその場で答えるものですが、プレゼンテーションは、**発表する内容を事前に準備することができ**、発表を効果的にするための「資料等」を準備することができます。つまり、プレゼンテーションは、**自分自身で、発表する内容や、発表の仕方を決めることができる**ということが面接との大きな違いです。

Q5. 発表を終えたあと、監督者から何か質問されることはありますか？

- A. いいえ。発表を終えたら、監督者の指示に従い、荷物等を持ってすみやかに検査場から退室することになります。

Q6. 原稿文を読みながら発表してもいいのですか？

- A. いいえ。「ただ読むための原稿」の持ち込みは認めていません。「資料等」を見せたり、指し示したりしながら話すようにしてください。

Q7. プレゼンテーションの時間は、2分を超えても大丈夫ですか？

- A. **2分間で終わらせる**ようにしてください。2分 30 秒を超過した場合、途中でも終了します。試験会場ではタイマーがありますので、参考にしてください。

Q8. 「今後取り組みたいこと」とは、高校入学後においてですか、それとも高校卒業後も含みますか？

- A. **高校入学後に取り組みたいことについては必ず触れてください。**卒業後のことについても、考えていることや思いがあれば述べてください。

Q9. プレゼンテーションでは何が評価されますか？

- A. プレゼンテーションでは、皆さんの「**目的意識**」と「**他者にわかりやすく伝える力**」を評価します。皆さんがこれまで取り組んできたことと、**今後の高校生活への思い**を率直に発表してもらったら大丈夫です。その「思い」が伝わるように練習しておいてください。

Q10. 英語の使用や、楽器・歌・ダンス等の実演をする方が高い評価を得られますか？

- A. 皆さんの「目的意識」を「わかりやすく伝える」ための手段の一つとして、英語や楽器・歌・ダンス等の実演があると考えてください。特技発表の場ではないので、**必ずしも実演をする必要はありませんし、その完成度の良し悪しを評価するものでもありません。**2分間で、「自分の思いを伝える」ことを第一に考え、それを効果的に伝えるために補助的に提示する「もの」や、表現するための「動作」があれば、「資料等」として用いてください。

その他、新たにお知らせすることがある場合は、学校 HP にて順次、公開します。